

# 審議した主な議案

## 令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について

9月2日の本会議において、議長を除いた22人で構成する決算特別委員会(清水がく委員長)に付託し、9月30日から10月4日までの計5日間、約31時間にわたり審査を行いました。

10月8日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により認定しました。

### 反対討論(要旨)

片山かおる(子どもの権利)

反対の第一の理由は「前市長による保育園廃園専決処分は違法、廃園条例は無効」判決を、白井市長は重く受け止め控訴を行わないのに廃園方針を撤回せず、段階的縮小を進め、判決に背く違法行為を続けている。第二の理由は、市役所庁舎建築設計に関して抜本的なコストダウンの方策や市民からの要望実現に向けた措置が講じられていない。第三の理由は、教育行政。子どもの権利を守る観点から法令遵守の行政運営を求める。

### 賛成討論(要旨)

河野麻美(自民党・信頼)

市長が執行権を持ち、現場の状況を理解し、市民生活にかかわる、進めるべき事業に取り組み始めた点は評価する。一方で集会所等の空調故障、手狭な学童保育所の維持管理、市民まつりの中止決定に伴う検討や優先整備2路線にかかわる対応等多くの問題があった。新庁舎建設や公共施設の更新を控え、本市の財政は盤石とは言えない状況であり、本来の市民生活を守る

ことを軸に計画的な財政運営に取り組みことを要望する。

### 反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

第一に、物価高騰等で大変となる市民生活への支援が不十分である。第二に、公立保育園廃園に関する東京地裁判決を受け入れず、廃園が進んでいる。第三に、庁舎等建設の市財政への影響は重大で、市民生活の今後の財源をつくるために、庁舎等建設のコストダウンの見直しが行われなかったことである。第四に、集会所のエアコンの更新計画がなく、学童保育所の修繕等の予算が不十分である。以上の理由から不認定とする。

### 賛成討論(要旨)

鈴木成夫(みらい)

①実現できなかった施策の説明が不十分。②優先整備路線独自検証の無計画な庁内意思決定プロセス。③関係する市民や出展団体、全庁内での意見交換なしに「なかよし市民まつり」の中止を決めたことなどは大いに反省すべき。熟度の低い政策的事業は職員の疲弊や業務のミスにつながる懸念が否定できない。市民との約束を守る姿を職員に示し、職員と一体で、市政の重要課題解消に努めることを要望し、賛成する。

### 賛成討論(要旨)

小林正樹(公明党)

決算年度は複数の施設で急な空調機器の不具合などが続き、市民活動に大きな影響を及ぼした。全ての設備や備品の不具合を解決した上で、計画的なファシリテイマネジメントに着手す

べきである。緊急修繕費などは、公共施設マネジメント担当で一括管理するなど機動的な予算執行が求められる。窓口改革については、コンビニ証明書交付件数も激増している。新庁舎移転に向け組織編成など改革を進めていただきたい。

### 賛成討論(要旨)

安田けい(生活者ネット)

新庁舎建設が再開に向け動き出したことは大きな成果として評価する。評価できない点を以下に指摘する。第一に、公立保育園廃園裁判を受け原告のお子さんのみ入園させる判断をしたこと。第二に、HPVワクチンで健康被害を受けた学齢期の被害者の健康状態を把握せず、接種対象者へ情報提供もしない無責任極まりない態度であること。第三に、PFAS汚染について市民の健康や自然環境を守る独自の取組が全くないことである。

### 賛成討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)

市議会の意思として新庁舎建設事業にストップをかけてから建設工事費推計は24億3千万円増加したが、決算年度には事業が再開した。スケジュールどおりに進めることを求める。「武蔵野公園を愛している」と答弁した白井市長には東京都に優先整備2路線の中止を求める要望書を提出するという市長意思を、曲げることなく実現することを期待する。気候非常事態宣言を行った小金井市として気候危機対策の強化を求める。

### 令和6年度一般会計補正予算(第4回)

9月3日の本会議において、予算特別委員会(片山かおる委員長)に付託し、9月18日の委

員会で審査を行いました。

補正予算の主な内容は、今後の財政需要に備えた「財政調整基金積立金」(9億9千万円)、新庁舎建設推進と起債抑制に向けた「庁舎建設基金積立金」(2億円)、公共施設等の整備、維持及び更新に向けた「公共施設マネジメント基金積立金」(1億円)、各課で行う定型的かつ多量なシステム入力作業等において、デジタルツールを効率的に活用するため、作業シナリオの作成支援を事業者に委託する「AI・OCR・RPA導入支援委託料」(407万2千円)、とうきょうすくわくプログラムに定める乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を実施する民間保育所等に対し、事業に必要な経費を補助する「保育サービス推進事業補助金」(4千200万円)、新型コロナウイルスワクチンの定期接種を開始することに伴い、接種費用の一部を補助するほか、他市との相互乗入れを行い、市民の利便性を図るための「新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費」(1億3千71万4千円)、知的、視覚及び聴覚に障がいはないものの、文字の読み書き等に著しい困難を有し、学習の遅れや心身に不調を来す等、学校の生活に支障が生じやすいディスレクシアを抱える児童・生徒の支援に必要となる具体的な対応を教員、保護者、その他関係者に助言等をするため、市立小・中学校を巡回する専門家1人を配置する「読み書き困難等支援員謝礼」(43万2千円)等です。

### 反対討論(要旨)

斎藤康夫(参政党)

本予算には「自己増殖型mRNA(レプリコン)ワクチン」を接種する可能性のある予算が含まれているので反対する。従来型のコロナワクチンはmRNAであり、人間の遺伝子に影響を与える可能性があることを多くの専門家が指摘している。「レプリコンワクチン」は、研究開発の途上の薬といわれ世界中で日本のみでしか認可されておらず、少量の接種で長期間スパイクタンパク質を産生され、更なる危険性が指摘されている。

### 賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

がん患者へのアピランスケア支援、高齢者の補聴器購入費の予算補正。読み書きに障がいを感じているディスレクシアの子どもへ支援事業を開始。幼児教育・保育事業の充実と保育サービス向上へ、とうきょうすくわくプログラム事業導入や保育士キャリアアップ事業。職員の基幹系システム入力業務の効率化や確実性向上と業務改善へAI・OCR・RPA導入支援。新型コロナウイルスワクチン定期接種事業等、市民にとって必要な予算。

### 令和6年10月に小金井市長に支給する給料の特例に関する条例

本条例は、固定資産税・都市計画税の課税に関する事務執行上の適切さを欠いたことに対し、市政執行の最高責任者としての責任を明確にするため、市長の令和6年10月の給料月額について、96万5千円を10%減額して86万8千500円と定めるものです。

9月2日の本会議では、委員

会付託を省略し、採決の結果、原案のとおり可決しました。

### 賛成討論(要旨)

高木章成(子どもの権利)

小金井市長に支給する給料の特例に関する条例に賛成の立場から討論する。本件課税誤りは納税者の問い合わせで明らかになった。問い合わせを受け、過去に遡って徴税記録を精査・点検した職員に敬意を表する。少なくとも2000年以降、課税誤りが続き、返還不能金が生じてしまったことは税の公平性や税務行政の信頼性を損ねる。市長の減給で幕引きはあつてはならず真相解明と原因者の責任の明確化、再発防止を強く求める。

### 反対討論(要旨)

清水がく(街の仲間たち)

現設計案は、市民参加の機会を設け、市議会で議論を重ね最終段階に至った。この段階で再度計画を見直した場合、今後も見直した案をその時々の中で再度見直しをすることが十分に想定される。このようなことを繰り返しているのは、いつまでも新庁舎や福祉会館は完成しない。これこそ市民に対して無責任ではないか。もういい加減、小金井市政の前に進めるため、新庁舎等建設については、私たちの代で解決するべきである。

### 反対討論(要旨)

沖浦あつし(みらい)

①見直し案に酷似する陳情は、令和2年に当該団体から提出さ

れ、議会で不採択。②平成30年に提出された当該団体の要望書には「免震構造適用部分の縮減」と明確に免震構造と異なる耐震システムを求めている。この点は見直し案と比べ、著しく一貫性を欠いている。③見直し案を現設計案と同等に扱うことは、建設業界はおろか本市が行う全ての入札や契約への信用問題となり、議会の議決責任も問われる。よって本案に反対する。

新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例の概要は1面に掲載しています。

### 閉会中の委員会日程及び審査案件

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会 11月6日(水)午後1時 審査案件: 3件	建設環境委員会 11月18日(月)午前10時 審査案件: 4件
行財政改革推進調査特別委員会 11月8日(金)午前10時 審査案件: 1件	厚生文教委員会 11月19日(火)午前10時 審査案件: 10件
総務企画委員会 11月11日(月)午前10時 審査案件: 12件	議会運営委員会 11月21日(木)議会基本 条例検証協議会終了後 11月25日(月)午後2時 審査案件: 5件

※各委員会の審査案件は、二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、ご覧いただくことができます。

※委員会等の映像については、YouTubeで中継・録画配信しています。

※紙面の都合により、審査案件の掲載は省略しています。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。